



9月16日に行われた遠洋航海出港式で決意を述べる茅野篤貴くん

鹿水高 鹿児島水産高校



本校には、県内各地から海好きが集まり、みんなが学校への愛着を持ち自分の夢に向かって頑張っています。

11月18日、19日には鹿水高祭を開催します。マグロの試食会や缶詰販売などありますので、ぜひご来場ください。

生徒会長 平瀬幸彦くん
(海洋科栽培工学コース3年)

豊富な実習で経験を力に活躍する水高生



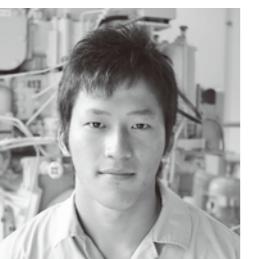
鹿児島水産高校は、県内で唯一の水産・海洋系専門高校として、様々な業界にスペシャリストを輩出する専門高校として、様々な業界にスペシャリストを輩出するなど、日本の水産業の発展の一翼を担っています。入学時に海洋科(2年次に3コース)、情報通信科、食品工学科の3学科に分かれ、それぞれ専門分野を学びます。さらに、海洋科と情報通信科には2年間の専攻科があります。最大の特徴は、各分野に精通した教員の指導と最新設備により、豊富な実習が行えることです。薩摩青雲丸や拓青

など最新鋭の実習船での航海実習をはじめ、校内にある航海シミュレーション装置や船舶機関室を再現した施設などで実習により、卒業生は社会で即戦力として活躍しています。また、地元企業や団体、小・中学校などと連携した取り組みも多く行っています。近年では、市漁協と地元近海漁師との共同による枕崎近海放流体験事業など、地域活性化にも一役かっています。

INTERVIEW ~夢の実現に向けて頑張る生徒たち~



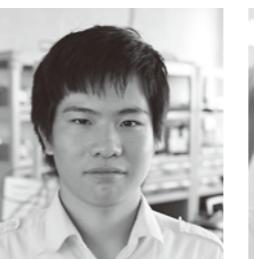
海洋科海洋技術コース3年
宮路大聖くん



海洋科機関コース3年
鎌谷直也くん



海洋科栽培工学コース3年
岩川沙来さん



情報通信科3年
増田捺央哉くん



食品工学科3年
船迫拓磨くん

問合せ

鹿児島水産高校

TEL
7
6
2
1
1

船乗りへの憧れから水産高校へ行こうと思いました。入学して学んでいくうちに、さらに船への興味が湧いてきて、もっと深く学びたいと感じようになりました。人々の生活の支えとなるような仕事に就きたいです。夢は物資などを運ぶタンカーの船長になることです。

小さな頃から釣りや素潜りなど海が好きで、趣味が生かせる仕事に就きたいと思い水産高校を選びました。機関作業は思った以上に大変でしたが、7つの資格を取得することができました。遠洋航海では辛かったこともありましたが、仲間と協力し乗り越えたことが思い出です。

小学校からしている、趣味のダイビングを生かせたらと水産高校を選びました。男子が多い中、最初は戸惑いもありましたが、今では楽しく過ごしています。実習で校外に出ることが多いのも魅力です。キャビアで知られるチョウザメの種苗生産などの研究も取りたいです。

「資格が取れて就職に有利」と聞き水産高校に行こうと決めました。特に食中毒の原因となる微生物について興味があります。将来は消費者に安心して食べてもらえる商品づくりに関わりたいです。もう引退しましたが部活の野球をはじめ、充実した学生生活を送っています。

今号から2回にわたり、枕崎高校と鹿児島水産高校の地元2校の魅力を紹介します。次号では各校の進路・就職状況について掲載予定です。



意志の数だけ道がある

枕崎高校は、平成10年に県内の高校で初めて総合学科を設置し、当時、県のモデル校として注目を集めました(現在は県内に6校)。「進学にも就職にも対応できる」これが総合学科の特徴です。

1年生の時間割では必修科目が多い中、自分の将来を考える1年間の進路学習、課題研究の成果を発表する総合学科ならではの科目「産業社会と人間」があります。そして2年生からは、自分の進路に合わせて授業を選べる選択科目が中心の時間割となります。1月には1年間の進路学習、課題研究の成果を発表する総合学科を設置し、当時、県のモデル校として注目を集めました(現在は県内に6校)。「進学にも就職にも対応できる」これが総合学科の特徴です。

1年生の時間割では必修科目が多い中、自分の将来を考える1年間の進路学習、課題研究の成果を発表する総合学科を設置し、当時、県のモデル校として注目を集めました(現在は県内に6校)。「進学にも就職にも対応できる」これが総合学科の特徴です。

1年生の時間割では必修科目が多い中、自分の将来を考える1年間の進路学習、課題研究の成果を発表する総合学科を設置し、当時、県のモデル校として注目を集めました(現在は県内に6校)。「進学にも就職にも対応できる」これが総合学科の